

県協会だより

第 38 号

平成 30 年 4 月 14 日
発行

鳥 取 県
バドミントン協会
総務本部 総務部

平成 30 年度に向けて

理事長 源 憲 治

平成 29 年度第 2 回代議員会を 3 月 10 日に開催し、平成 30 年度事業計画、予算案及び新役員が決まり、新年度がスタートしました。

昨年度は、第 34 回中国地区レディースクラブ対抗・年齢別競技会(5 月：米子市)、第 53 回中国地区高専体育大会(7 月：米子市)、第 41 回中国学生選手権大会(8 月：鳥取市)、第 18 回中国地区シニア選手権大会(11 月：鳥取市)、S/J リーグ 2017 米子大会(1 月)を開催し、多くの方々の協力を得て成功裏に終えることができました。また、第 72 回国民体育大会(愛媛大会)においては、成年女子が 5 位入賞し 5 年ぶりの種目得点を得ることができました。

本年度は、第 61 回中国高等学校選手権大会(6 月：鳥取市)、第 61 回中国地区総合選手権大会(9 月：米子市)を開催します。新年度の事業計画に沿って、新役員が一丸となって推進して参りますので、会員の皆様の各種大会へのご参加並びに協会運営へのご協力をお願いいたします。

協会を支えていただいているのは登録会員であり、その方々に満足いただきたく、「鳥取県の人口の 1% の会員登録者」、「東部・中部・西部地区を軸とした競技役員体制の充実」、「各種目が継続的に本国体ベスト 8 入賞を果たすべく強化を図る」という目標(ミッション)を再定義致しました。このミッションに基づき中期計画・年度計画を定め目標に向かって事業を推進して参りますので、よろしくお願い致します。併せて、昨年からの「組織強化」と「人材育成」をスローガンとして協会運営を図っていきたくと思っていますので皆様のご理解とご協力を今後ともよろしくお願い致します。

総 務 本 部

総務本部長 石谷 浩

平成 30 年 3 月 10 日(土)に平成 29 年度表彰式・第 2 回代議員会を北栄町大栄分館で開催しました。平成 30 年度は役員交代が承認され新体制に刷新され船出します。今後共ご支援・ご協力宜しくお願いいたします。

◆平成 29 年度県協会表彰

【功労賞】	八田 英俊	米子市協会の役員を歴任し功績が顕著な者
【技能賞】(個人)	花本 大地	全日本シニア 30 才以上シングルス 5 位 同 30 才以上ダブルス 第 3 位
	出石 哲也	全日本シニア 30 才以上ダブルス 第 3 位
	地神加奈子	全日本シニア 30 才以上混合ダブルス 優勝
	瀬川友紀	全日本シニア 45 才以上ダブルス 5 位
(団体)	国民体育大会 成年女子	5 位
	高橋 真理	高瀬 秀穂 岸田 洋子



県協会だより

【優秀賞】(個人)	小林 寛哉	全日本教職員バド大会	一般男子シングルス準優勝	ダブルス準優勝
	青木 洋	全日本教職員バド大会	一般男子シングルス3位	ダブルス準優勝
	出石 哲也	全日本教職員バド大会	一般男子	ダブルス 第5位
	杉川 友和	全日本教職員バド大会	一般男子	ダブルス 第5位
	山本 正人	全日本教職員バド大会	60才以上シングルス準優勝	ダブルス 第3位
	三村 俊彦	全日本教職員バド大会	60才以上	ダブルス 第3位
	新木 統	全国小学生バド大会	6年以下男子ダブルス	第5位 3年連続出場
	新木 颯	全国小学生バド大会	6年以下男子ダブルス	第5位 3年連続出場
	湯原 悠登	全国小学生ABCバド大会	男子シングルス	Cグループ 5位
	豊田 葉菜	中国地区小学生バド大会	5年女子ダブルス	優勝
	谷口 佳菜	中国地区小学生バド大会	5年女子ダブルス	優勝
	高嶋 優里	全日本高等専門学校バド大会	女子	シングルス 5位
	井上 和喜	全日本高等専門学校バド大会	男子	ダブルス 5位
	山崎 凌	全日本高等専門学校バド大会	男子	ダブルス 5位

おめでとうございます。

◆新役員の紹介

顧問	中林 正樹	宮本 義夫		
副会長	濱橋 喜幸	三村 俊彦		
理事長補佐	松本 伸司			
副理事長	長濱 洋次			
事業本部長	濱橋 喜幸			
理事	池原 照	小田井 貴子	池田 久美子	岡部 優輝
	香田 純子	森 直義	佐田 貴重	

事業本部

事業本部長 濱橋 喜幸

日頃は協会事業にご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。昨年度は5月に中国地区レディースクラブ対抗競技会／中国地区レディースバドミントン年齢別競技会(米子市)、11月に中国地区シニア選手権大会(鳥取市)、1月にS/Jリーグ米子大会(米子市)を開催し、無事終了することができました。関係者の皆様には、大会の開催にご協力いただきましたことを厚くお礼申し上げます。

さて、平成30年度は、第61回中国高等学校選手権大会(6月22日～24日：鳥取市)、中国地区総合バドミントン選手権大会(9月15日～17日：米子市)が開催されます。参加される選手のご活躍を期待するとともに、会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

◆大会要項の主な改正点

委嘱状の発行は、県協会HP掲載の委嘱状申請書で競技役員長または大会事務局に申請することに変更しました。

◆主管大会の運営方法の変更

主管大会の運営方法が変更となりました。部会・連盟の主管大会は、従来通り各部会・連盟で運営しますが、その他の主催大会については県協会で行います。なお、開催地の協会には、引き続き会場の

確保、審判員の派遣、会場設営等でお世話になりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

◆審判員資格審査検定会の開催

平成30年度の審判員資格審査検定会を、以下のとおり開催します。検定会当日までに（公財）日本バドミントン協会への会員登録を済ませてください。

① 1・2級審判員資格審査検定会

平成30年8月25日（土）～8月26日（日）岩国市総合体育館

② 3級・準3級審判員資格審査検定会

	東部地区	中部地区	西部地区
期日	平成30年6月16日（土）	平成30年9月24日（月）	平成30年4月22日（日）
場所	鳥取産業体育館	北栄町大栄体育館	日吉津村立農業者 トレーニングセンター

以上、県協会のホームページに掲載しておりますので、ご確認いただきますようお願いいたします。

強 化 本 部

強化本部長 松本 伸司

日頃より本協会強化本部の事業にご理解、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。強化本部としては、中・長期ミッションを上げさせていただいております。

1. 指導者を確保し、指導力の向上を図る。
2. 各種目が継続的に本国体ベスト8入賞を果たすべく強化を図る。

以上、大きく2点に分けて事業の計画・実施を行ってまいります。

指導者につきましては、（公財）日本体育協会公認指導員バドミントン4級（現在55名）、バドミントン2級（現在3名）ですが、有資格者の増加を計画し各カテゴリーでの指導力の向上を目指す。また、本国体での取得点が主な目的として事業を行ってまいります。昨年は数年ぶりに成年女子が5位入賞を果たしましたが、他種目は残念ながら入賞を果たす事が出来ませんでした。この目標を単年度で達成する事は困難と考え、昨年からの年間10回の小・中の強化指定選手強化練習会に加えて、今年度より中学生強化練習年4回を追加計画し、年3回のわかとりバドミントンサーキット、及び中・高指定選手強化合宿、高校生指定選手強化合宿等を数年で、より競技力の高いものにしたいと考えます。

また、成年男女につきましても、通常の強化練習会及び強化遠征を昨年より多く計画をし、本国体の継続的な入賞を目指します。

◆平成29年度公認スポーツ指導者講師競技別全国研修会に参加して

強化本部普及指導部 渡部 茂樹

平成30年3月10、11日の両日、東京都町田市にある法政大学多摩キャンパスにおいて、（公財）日本バドミントン協会主催の「公認スポーツ指導者講師競技別全国研修会」が開催され、小林寛哉氏と渡部の2名で参加させていただきました。この研修会は、公認指導者の養成を行うにあたり、全国どこで講習を受けても同一内容・レベルで講習が受けられるように、また、全国各地の指導者が一貫指導システムを理解し、ネットワークを構築することを目的として開催されています。

今回の講習では、「公認指導者養成講習での講師の役割と責任について」、「人を育てるコミュニケ

ーション」、「指導者養成のフレームワーク・内容・方法・評価」の講義について、「指導実習の評価基準と具体的な評価方法について」、「公認指導者養成講習会を計画する」の実技で計12時間の内容でした。講義では普及開発部の木津広美氏による「人を育てるコミュニケーション」と題し、御自身の日本リーガー経験から現在の社長業に至るまで、その中で自分自身や相手に対するコミュニケーションについて、非常に貴重なお話を伺わせていただきました。実技では、法政大学バドミントン部員をプレイヤーとして、実際にノック形式の練習方法を学びました。どの内容も県内ではなかなかできない、充実した研修でした。また、夜には他県指導者の方々との懇親会にも参加し、意見交換等、貴重な交流が図れました。今後も継続して参加し、最新の指導・評価方法や情報交換を行い、鳥取県内の指導者のレベルアップを図っていきたくと考えます。

最後に、本講習会に参加させていただき、協会役員及び協会の皆様に厚く御礼申し上げます。

◆バドミントンS/Jリーグ2017米子大会を終えて

実行委員長 源 憲 治

このたび10年ぶりに、1月21日米子産業体育館において[男子]日本ユニシス×JR北海道、[女子]再春館製薬所×山陰合同銀行の対戦カードでバドミントンS/Jリーグ米子大会を開催しました。入場者数は、2,600人で2階席は観客が溢れ立ち見の状況でした。この入場者数は、S/Jリーグ開幕、最終選のつぎに多い数でした。これもひとえに各市町村協会の協力を得て全県一丸となって実施したおかげです。また、山陰合同銀行からは、石丸頭取を筆頭に600人による応援団、売店・広告等多大な支援をいただきました。

当日は、平井県知事、山本県教育長、油野県体育協会長、伊木米子市長に来賓として出席いただき、にぎやかな開始式を行うことができました。試合の方は、[男子]は13時30分から始まり日本ユニシス2-1JR北海道、

[女子]は再春館製薬所2-1山陰合同銀行でしたが、13時00分から始まった試合は全てがファイナルゲームで終了したのは17時20分でした。

どちらが勝ってもおかしくない好ゲームで観客からの歓声も高かったです。

大会運営においては、西部地区の多くの方々の協力を得て万全の体制で臨み、成功裏に終えることができました。実行委員会を代表して、御礼申し上げます。今後は、今回の経験を生かし数年後に開催誘致をできたらと思っています

